

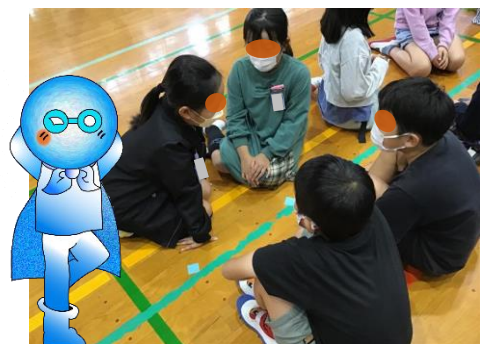


## 「命の大切さ」を考える講演会

昨日11日(火)に、「生命誕生と命の大切さ」の講演会が5・6年生を対象に行われました。本年度より、教育委員会が「性に対して科学的な知識と正しい判断力を身に付け、将来適切な行動選択できること」を目的とし、助産師会の7人の方が来校され、小学校を対象に初めて開催されました。なんと、その第一回目が本校で行われたのです。病院ではなく地域で赤ちゃんを守る活動をされている加治みゆきさんが、「命の力を知ろう」をテーマに話してくださいました。

まず、自分の命の始まりから知り、守られていた存在だったこと。次に、これからは自分で守ってほしいということ。命と性のつながり、未来の命を大切にすることを考えました。最後に、「心と身体と相手も大切にできる力を大事にしてほしい」とのまとめでした。お話の中で「人を傷つけるために生まれた命は一つもない。人から傷付けられるために生まれた命も一つもない。」という言葉が印象的でした。

子供たちは、「自分のことをわかっているつもりだったが、自分の命について初めて知ることがあった。これから他の人の命についても知っていききたい(5年)」「個性の性について、性の漢字の成り立ちが、心が生き生きするということが心に残りました。性が生活に深くかかわっていることを知りました。(6年)」と感想交流を行い全体発表で共有し合い、それぞれが自分の心と帯西レンジャーの心を重ねて考えていました。最後に、5・6年生のビリーブの歌声に、助産師さんが感激の涙を流される場面もあり、心で命を感じることができた素敵なひと時となりました。



## 季節の変わり目の体調に気を付けよう!

涼しくなり、さわやかな秋ですが、だるい、食欲不振、胃腸の調子が悪いなど体調を崩すことも多いようです。温度差による体調の乱れもその要因の一つですが、秋は低気圧の日が多くなり、空気中の酸素濃度が低下するため、身体の不調が出やすくなるのも要因の一つだそうです。そこで、体を冷やさない服装をする、ゆっくりお風呂につかるようにする、体を適度に動かす、十分な睡眠をとる、バランスの良い食事を心がけるなど工夫して、体調を整えるようにしましょう。

